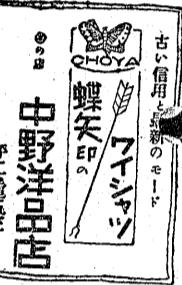


いわき民報

行田町民報
三社
平いわき部局
発行
381222
広告専用



町村は無競争一二名

定員七八に立候補九〇

石城地方の町村部議会議員選舉

出は十二日で締切り、今回議事

しない和村を除く町村の候

補候補者がそろった。無競争當選

は四倉町大浦地町(七名)大野町

(六名)計二地区十二名が決つ

た。他の候補者七十七名は定員六

十名を対して議事率一・一倍近

く市部より議事率が激しく、新

人も力士以上も占める霞野町など

平均七割の議事率があつてゐる。

四倉町 15-16

▼西倉地(二)、
丹野 春賀(さ)

外山 孝(ひ)

新妻 翠雄(み)

鈴木 光雄(ひ)

根本 正雄(ひ)

萩野 一之(い)

齋藤 太郎(太)

小林 久(ひ)

赤坂 備六(ひ)

荒川 力(ひ)

猪谷 光久(ひ)

多久瀬 一郎(ひ)

夏井 萩内(ひ)

高木 高淡(ひ)

平井 米貴(ひ)

鈴木 房吉(ひ)

森 德丸(ひ)

大井 朝助(ひ)

齋藤 常(ひ)

河原正司(ひ)

大谷 和貴(ひ)

齋藤 信衡(ひ)

大河原正司(ひ)

森 信衡(ひ)

大平 錦助(ひ)

鈴木 衛太郎(ひ)

阿部 正義(ひ)

齋藤 喜男(ひ)

大平 忠(ひ)

鈴木 衛太郎(ひ)

阿部 正義(ひ)

『異物の都』平市で実験を企画している平市農業課では十月、家庭に果樹苗を販売すべく旗下各種地に果樹苗の紹介を行つてゐるが、この『市果物』

かい運動が実現す。お市に贈進できる。この『市果物』は市役所農業課谷

れば冷冻冷蔵罐詰工場の建設と相まって

平市は消費都市か。市に贈進できる。こ

技師の話では、果樹の栽培技術はそれほど難しいこと

ではなく、同氏の自宅付近一帯の家庭(北町住宅)では立派に家庭果樹栽培を成功してゐる。

平市を果樹で埋めよう

桃の木一本から一百五十コ 成功者 北目の吉野さん

石城地方でさうした平市は温暖な気候に恵まれ梅、桃、あず、なまた新築に成功した家庭では果物の育成も容易いがゆえ、どうりんごから南国のミカン、ピラミンゴは一本の木から桃二百五十コと、助さん(男)の場合にはこうだつたうでも、やつてみれば案外よい果実ができる。もちろん植を放し、取り放してはなく、家庭樹の成功のコツは愛情と熱情だ。住家の条件に臺形地である。離してよ、柿を植え、庭園の一部といじねぐ、柿などを植えると、風

「旱生水蜜桃」を一本賣つた。元肥は堆肥十貫匁、水肥二斗、魚粕五百匁を入れた。一年目は芽を四本残して切り取つた。三

年目に追肥として鷄糞一貫を施す。年目に追肥として鷄糞一貫を施す。

▼桃二十九年三月に「一年生苗

胆」「二實外を入れただけだつた。四年目の今は、赤色ついで、一本の木が二百五十コと、

たまに花が二百五十コも一本

の木にならなくなつてゐる。

▼桃二十九年三月に「一年生苗

胆」「二實外を入れただけだつた。四年目の今は、赤色ついで、一本の木が二百五十コと、

たまに花が二百五十コも一本</